

保護者のみなさま

河内長野市立楠小学校  
校長 坂田 臣織

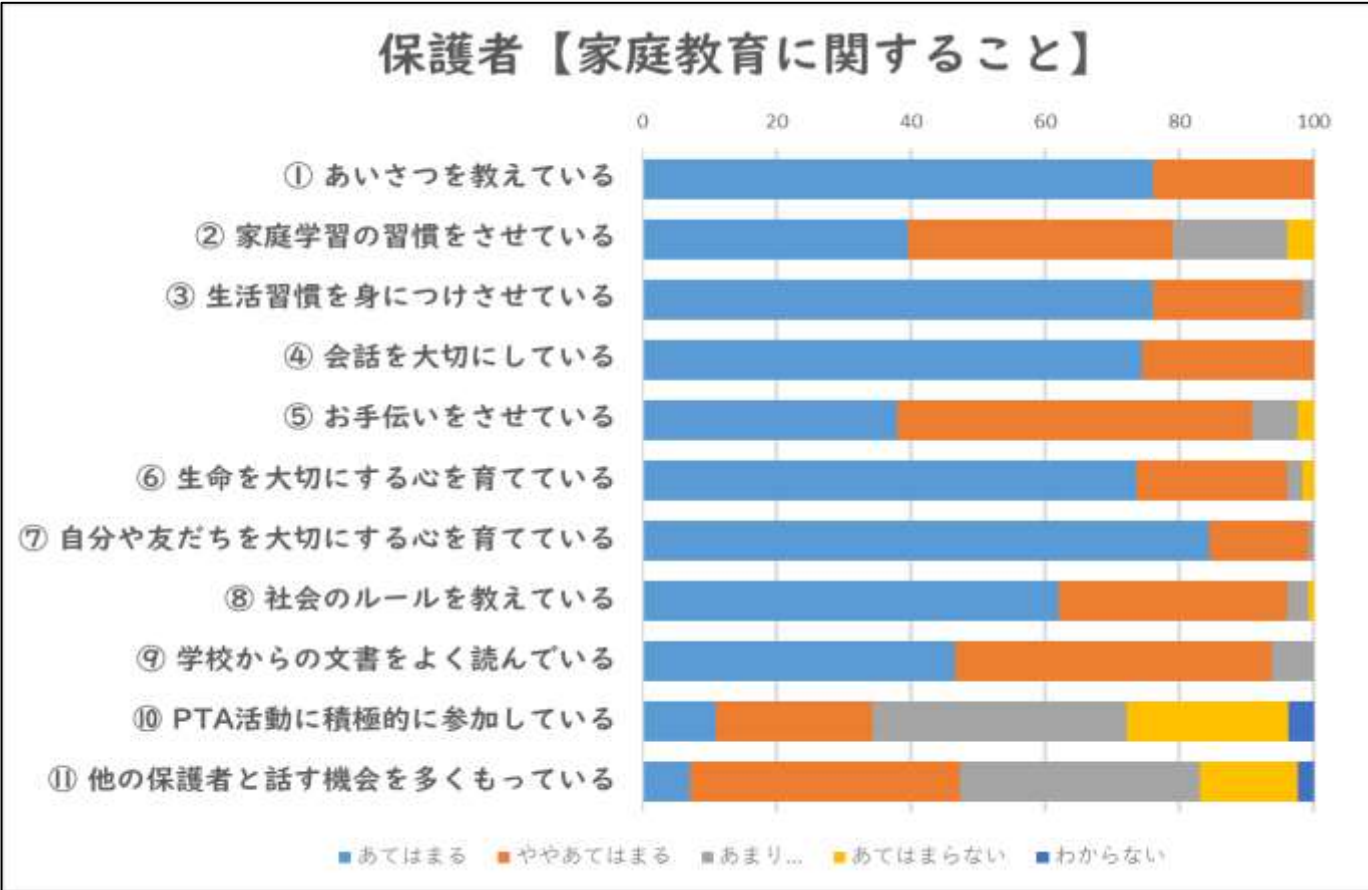
令和7年度 学校教育アンケート 集計結果について

平素は、本校の教育活動にご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、本年度も本校教育活動を振り返る「学校教育自己診断」としまして、全児童と保護者のみなさまを対象に学校教育アンケートを実施いたしました。その集計結果からわかった本校の成果、課題、改善方を記載しております。

つきましては、本資料をご覧ください、今後とも本校の教育活動へのさらなるご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

★保護者アンケート結果★



【良い点】

□①「あいさつ」③「生活習慣」④「会話」⑥「生命尊重」⑦「自分や友だちを大切にする心」など、9割以上が肯定的回答となっており、ご家庭での意識の高さが伺えます。学校でも歩調を合わせ、相乗効果が生まれるよう、教育活動をすすめてまいります。

【課題点】

■⑩「PTA 活動への積極的参加」や⑪「保護者同士の交流」については、否定的回答の割合が他の項目に比べて目立っています。お忙しい日々の中で、保護者間のつながりを広げることは難しいですが、PTA 行事や学校行事において、保護者の方が参加しやすい工夫を今後も続けていく必要があると考えています。

## 保護者【学校教育に関すること】

0 20 40 60 80 100



### 【良い点】

□⑥「基礎学力を身につけさせている」⑯「学校へ行くのを楽しみにしている」⑲「運動会などの学校行事に、楽しく参加している」では、肯定的回答が約9割で「あてはまる」の割合だけで50%を超えています。勉強と特別活動が学校にとって大切な要素であり、その両輪に高い評価を得られている状況を、今後も継続していきたいです。

### 【課題点】

■⑨「いじめのない学校づくりに取り組んでいる」や⑩「人権を尊重する意識を育てようとしている」については、「わからない」との回答が一定数見られ、学校の実践内容や外部連携の取り組みが十分に伝わりきっていない側面があると考えられます。

## ★保護者アンケート、自由記述欄より★（一部紹介）

◇いつも子ども達の為にご尽力いただきありがとうございます。安心して学校に通わす事が出来ています。

◇困っていることがあれば、子どもも親もすぐに担任の先生に相談することができ、丁寧に対応していただけるので、ありがとうございます。

◆河内長野も給食に力を入れてほしい。⇒ R9 年1月から新しい給食センターが稼働します。これから市学校給食会や給食理事会で話し合わせ、準備をすすめられると聞いています。

◆3学期の通知表に、1年間分の評価をすべて表記してほしい。⇒今年度より、3学期に1年分を集約します。

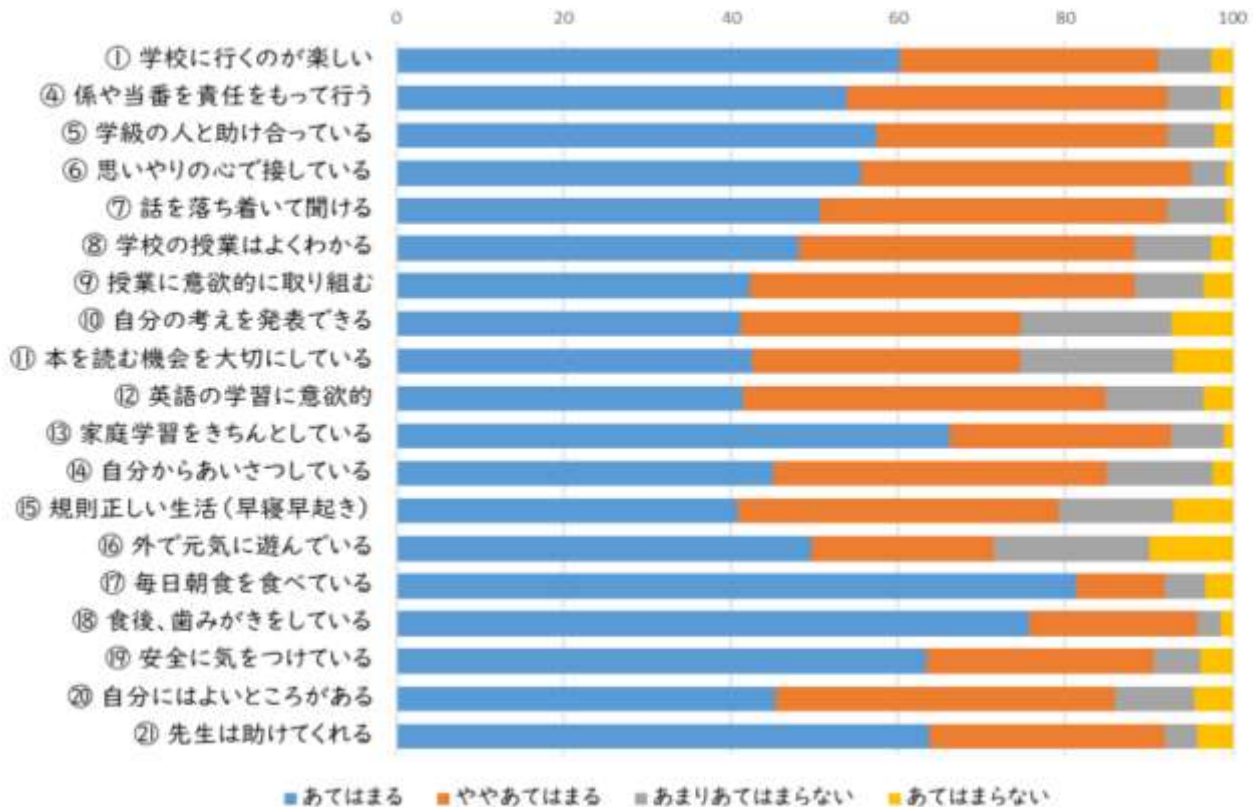
◆マラソン大会が嫌で、登校をしづっているのを何とか送り出しているが...

⇒励ましていただきありがとうございます。同様に感じている子どもたち、そして送り出してくださっている保護者の方々が一定数あるのだろうと想定しています。一方で、マラソン大会に向けて懸命に努力し、特別な環境と雰囲気で行けるのを楽しみにしている児童もたくさんいます。運営方法や、結果に関わる言葉かけなど、あらゆることに配慮し、「今年の自分と勝負する」ような教育の機会にしていきたいと考えております。

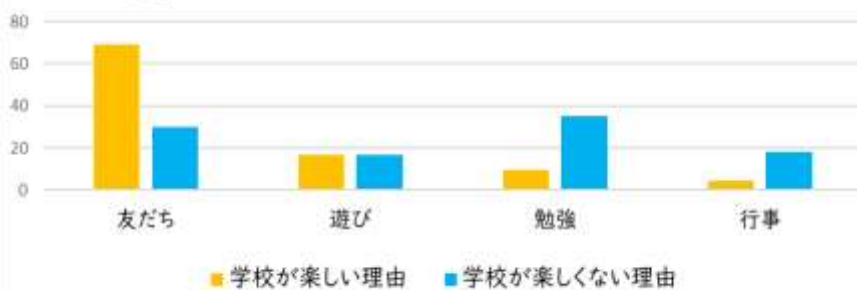
◆自由登校になった途端に車道を歩く、横並びに大きく広がって歩く、斜め横断や無確認での横断をするといった様子が見られる。⇒全校朝会や地区別集団下校の際に指導を入れています。加えて、河内長野警察にお願いし、1、3年生対象で交通安全教室を実施しています。しかし、それだけでは不十分で、ご家庭での日頃からのお声掛けが必ず必要です。折々に児童へ尋ねていただき、必要に応じてご指導をお願いいたします。

## ★児童アンケート結果★

### 児童(全学年)



②③学校が楽しい、楽しくない それぞれの理由について



⑳困った時は、だれに相談していますか。



#### 【良い点】

- ①「学校に行くのが楽しい」という問いに大多数が肯定的です。理由は「友だちと過ごすこと」が圧倒的で、良好な人間関係が築けていることが伺えます。ただ、楽しくない理由に「友だち」を選んでいる児童が一定数いることも事実であり、シグナル「こころの天気」や日常的観察によって、子どもたちの心の変化を捉え、関係改善をサポートしていきます。
- ⑰「朝食の摂取」や⑱「食後の歯磨き」では「あてはまる」と自信を持って回答しています。学校歯科医さんからも、コロナ禍で悪化していた児童の口腔衛生状況から改善してきているとお話しいただいていました。健診後の通院率も高まっています、ありがとうございます。
- ⑬「家庭学習」においても、肯定的回答が9割を超えました。今後も、まずは宿題をていねいに取り組み、成長段階に併せて自主学習のボリュームを増やしなが、持続した学習習慣を身につけていってほしいと願っています。

#### 【課題点】

- ⑩「自分の考えを発表する」の肯定的回答が8割を下回りました。知識や技能を習得し、それらを表現するところまでがワンセットであるので、この観点を向上させていくことが今後大切になります。
- ⑪「読書習慣」にも課題が見られます。全年齢的に活字離れが言われて久しいですが、小学生年代に「本を読むことは楽しい」と印象付けることで、その後読書週間に結びついていくものと考えています。成長段階に応じた本に出会う機会を、ご家庭でも設けていただきたいと思います。
- ⑳「相談相手」で先生と回答した割合が10%でした。㉑「助けてくれる」では良い結果でしたが、相談となるとハードルが高くなるようです。もちろん保護者の方には及びませんが、「先生に相談すれば何とかできる」と思ってもらえるような存在でありたいと思っています。傾聴の姿勢を心がけ、相談しやすい雰囲気をつくるよう、教員間で再確認いたします。

## ★総括★

今回のアンケート結果から、本校の教育活動およびご家庭での様子について、成果や強み、そして今後の課題も明確になりました。

成果としての大きな柱は、児童が「学校へ行くのを楽しみ」にしており、友だちとの良好な人間関係を築けている点です。また、ご家庭での「あいさつ」や「生活習慣」の定着度が非常に高く、「家庭学習」の習慣化についても9割を超える肯定的な回答が得られました。これらは、学校での学びを支える強固な土台となっており、今後も保護者の皆様と連携しながら子どもたちの成長を支えていきたいと考えております。

一方で、これからの成長に向けて、さらに力を入れていきたい点も見えてきました。児童の「自分の考えを発表する」力や「読書習慣」には依然として向上の余地があります。また、学校が行っている「いじめ防止」や「人権教育」の実践内容が保護者の皆様に十分に伝わりきっていない現状や、教職員が児童にとっての「相談相手」として、さらに信頼を深めていく必要があることも再認識いたしました。

これらの結果を踏まえ、次年度以降、本校では以下の4つのポイントに重点を置いて取り組んでまいります。

### 1. 自分の思いを伝える力の育成

知識・技能を習得し、それらを用いて自分の考えを言葉にする活動を授業に積極的に取り入れます。また、学級活動（係活動やお楽しみ会）や児童会・特別活動（委員会やたてわりなど）においても、友だち任せではなく、自分の意見を持って主張あるいは調整する機会を設け、表現力の育成に繋げていきます。この視点は、学校行事・学年行事の充実にも繋がるもので、特に高学年の児童は、主体的に活動することで「楽しさ」を実感できるようになっていきます。

### 2. 本との出会いを広げる

毎週水曜日の朝の読書タイム、1～3年生対象の『おはなしのとびら』（読み聞かせボランティア）、全学年対象の『絵本のひろば』等、現状の取り組みを継続しつつ、その充実を図ります。ご家庭におかれましては、一緒に読書を親しんでいただいたり、市の図書館や電子図書館の活用をサポートいただいたりと、読書環境の整備にお力添えをお願いいたします。

### 3. 相談しやすく、安心・安全な環境づくり

児童が「先生に相談すれば何とかなる」と思えるよう、教職員一人ひとりが傾聴の姿勢を磨き、相談しやすい雰囲気をつくります。また、登下校時の交通安全指導についても、地域・警察・家庭が連携して強化していきたいと考えています。

### 4. 分かりやすい情報発信と地域連携の深化

「いじめのない学校づくり」や「人権尊重」に向けた具体的な取り組みについて、生活指導通信『くっすーだより』や学校だより等で、より分かりやすく発信し、学校の姿勢を可視化します。

また、PTA活動や地域行事において、より多くの保護者の皆様が参加しやすくなるため工夫を検討していきます。

本校は、これからも学校教育目標「いつも笑顔で明るい学校」を目指します。子どもたちの健やかな成長のため、引き続き温かいご支援をお願い申し上げます。